

平成 26 年度 パッケージ別科目「生命・人間への接近」(第 3 パッケージ)

■概要

生命とは何か。また生命の中で、心という独自の特性を持っている人間とは何か。さらに「いのち」という言葉で示されるものの重み(価値)を、どのように考えていけばよいのか。

現代の自然科学は、生命・人間に関して、極めて深く多様な知見を獲得しつつあります。同時に、いのちや人間に対する尊重の仕方、あるいは私たち自身に対する理解の仕方やアイデンティティーについて、人文・社会科学は様々な問いを見出し、様々な考察を展開しています。

こうした「生命・人間」への接近と、そこから生じてくる数多くの問題は、現代における一つの包括的なテーマです。それを今一度、多角的な視野から考え直します。

キーワード

いのち, 生命, 遺伝子, 脳, 生物, 人間, 身体, 生死, 心, アイデンティティー, 実存, 尊厳, 宗教, 価値, 健康, スポーツ

■授業科目 *詳しくはシラバスで確認してください。

授業科目名	担当教員	開講 [前期/後期]	教員からの一言メッセージ
脳と行動	斎藤祐見子	[火1-2/ -]	世間では脳の「迷信」が氾濫中。本講義により、根拠ある科学的知識を身に付けましょう。
実存の探究	近藤武敏	[火3-4/火1-2]	哲学は役立たず? だからこそ哲学はまじりつけなしに楽しい! 哲學してみてください。
聖書の人間理解	辻 学	[- /金7-8]	天地創造、アダムとエバといった旧約聖書の神話は人間と世界について多くを語ります。
社会的なものと人間	材木和雄	[金7-8/金5-6]	社会性と人間性の関わりに興味関心があることを希望します。
心と適応	杉浦義典	[金7-8/金5-6]	適応とは何か、柔軟に考えてみましょう。ただし出席は柔軟ではいけません。
人間と健康	山崎昌廣	[火3-4/火1-2]	私の講義を聞いてください。健全な学生生活を送るうえできっと役立ちます。
遺伝子の世界	日下部眞一	[金5-6/金7-8]	できるだけ討論形式で講義を行いたいので、大きな声で対話してほしい。
人の生と死をめぐる法と社会	横藤田 誠	[金5-6/ -]	この授業のテーマに「正解」はありません。自分の頭と心を使って問題と格闘しましょう。
日本文学からみた人間性	檜原 修	[金5-6/金7-8]	文学作品を具体的に読み解くことで授業を進めます。その読解の試みに主体的に参加してください。
適応の生理	古川康雄	[火1-2/火3-4]	周囲の環境変化が身体機能におよぼす影響を生理学の視点から考えてみたいと思います。
生物学からみたストレス	浮穴和義	[- /火3-4]	プラス思考で受講すれば講義でストレスは感じないはず!?
社会福祉と貧困	佐々木 宏	[火3-4/火1-2]	社会問題について自分の頭でじっくり考えてみたい方々をお待ちしています。
脳のはたらき	栗栖 薫	[金7-8/ -]	具体的に脳のはたらきを知りたい学生さんの積極的な参加を待っています。
いのちを支える酵素	石田 敦彦	[火1-2/ -]	もろびとよ思い知れかし己が身の 生きて動くは酵素のわざぞ

■授業の選択

皆さんは上記の科目から複数の授業を選択することになります。「生命・人間」という 1 つのテーマに対して自然・人文・社会科学の様々な学問からアプローチする各科目を通して、一見交わることのないように見える異なる学問分野の間に「つながり」や「交錯」を感じることでしょう。学問ってオモシロイ!